

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

9月も中旬を過ぎました。週末からシルバーウィークとなり、今年は5連休となります。

2学期が始まって3週間が経ち、ほっと一息つきたいところだとは思いますが、連休明けの24日(木)・25日(金)には2学期の中間テストがあります。6月に実施した1学期期末テスト以降に学習した内容がテスト範囲となる教科もあるかもしれませんね。そうすると改めて教科書やノートを見直し、内容を思い出したうえで、ワークや問題集に取り組み定着したかどうか確認する必要があります。5連休には、学校が休みとなり、自分のペースで学習時間が取れます。シルバーウィークには、ここから休めながらも、計画的にテスト勉強を行い、有意義な5連休を過ごしてほしいと思います。



夏休みの研究成果が展示されました

9月5日(土)から7日(月)まで、鈴鹿ハンターで鈴鹿市科学作品展が開催されました。

鈴鹿市内小中学校の児童生徒が夏休みに行った自由研究の中から各校で優れた作品を選び出展されたものが展示されていました。本校からも9作品が選ばれ展示されました。

市内の小中学校から選ばれたすべての展示作品の中から本校生徒の作品を含め数点が選ばれて、日本学生科学賞三重県大会に出品されることとなりました。おめでとうございます。



薬物乱用防止教室を実施しました

9月9日(水)、3年生で鈴鹿ライオンズクラブの方々を講師としてお招きし、薬物乱用防止教室を行いました。

「薬物乱用」とは、「決められたルールを守らないで、薬物を使用すること」と定義され、薬物を乱用すると、人間が生活をしていくために最も大切な「脳」に悪影響を与えることとなり、特に、心身ともに成長する中学生や高校生の時期に薬物を乱用すると心身の発達が損なわれてしまうと教えていただきました。

また、違法な薬物(大麻や覚せい剤など)の使用、医薬品の過量服薬(オバードーズ)が薬物の乱用に当たると教えていただきました。

違法薬物の使用や過量服薬に誘われたら自分を守るために「きっぱり断ることが大切」と教えていただきました。



こどもたちのふり返りから

○ 「薬物」と聞いたとき、ぼくは大体、国内の大都市や海外の有名都市などで販売などがされていると思っていました。しかし、身近なところでも薬物が取り扱われることがあると聞き、びっくりしました。改めて、身近なこととして感じることができました。

また、「友達から誘われるなんて、軽擦にすぐ捕まるようなことはされない。そういうのは話の中だけ」と思っていたけど、実際に誘われた例を聞いて「薬物って本当に身近なところに潜んでいるんだな」と思いました。また、薬の過剰摂取にも気を付け、お医者さんに言われた通り、既定の量をまもって薬に頼りたいと思いました。

- 薬物はダメなものというのは元々知っていたけど実際にどのようなのが薬物なのかやSNSなどを通じて簡単に手に入ったりすることが起きている事実が知れました。どのようなリスクがあるのかも学ぶことができました。今の時代だからこそ薬物乱用が増える理由も動画や先生の話で理解することができました。動画の中で若い人たちがしゃべっているのを見て、実際のした人話していて後悔などいろんなことを思っていました。私も絶対にしないししたくないので誘われても断って気を付けようと思いました。
- 私には薬物は関係ないものだと思っていた。薬物の手に入れ方として、友だちから渡されるとか聞いて私はちゃんと断るから大丈夫だと思っていた。でも、今はSNSが使われていて、さらに危険性が高まっているのを知った。それでも私は、何があっても自分を守るために断るから大丈夫だと思いたい。私はもちろん薬物を乱用していないから乱用した人の気持ちは想像上でしか分からない。しかし、今日の動画を見て、私の思っている以上に苦しんでいるのが分かった。薬物は、身体的にも精神的にも追い詰めてくるものなのだと改めて理解した。その苦しみを味わないようにするために、好奇心などのせいで自分自身を殺さないように薬物の乱用は絶対にしない。
- 薬物乱用の動画を見てまだ規制されていなくて、大麻の成分を使った製品を売っていて危険だと思いました。10代とか20代で薬物をしている人の7割を占めていてすごいびっくりしたし、今はSNSで簡単に薬物を変えてしまうし絵文字を使って危険なものということに分からせなくしたりしていて騙されてしまう可能性もあるから気を付けたいと思いました。高校生になって友だちに危険ではないし気分良くなると言われ勧められても絶対に断ろうと思います。20歳までに薬物を使ってしまうと被害も大きくなりそうだし、1回やったら抜け出せない。脳も治らないということが分かったので、好奇心とかがあったとしてもやらないし、周りにも危険性を伝えて、少しでも薬物乱用している人が減ればいいと思いました。

認知症サポーター養成講座を実施しました

9月9日(水)、2年生で認知症サポーター養成講座を行いました。

講師として来ていただいた介護福祉士の方からは、「認知症になると、今までできていたことができなくなり、本人はすごく苦しみ、悲しくなること」や、「中核症状という脳の細胞が壊れてしまっている症状は治らないこと」、「行動・心理症状(BPSD)は、周りの人の助けがあればよくなるため、『大丈夫だよ』と優しい言葉で接することが大切なこと」を教えていただきました。また、認知症の方への接し方については、動画で具体的にわかりやすく教えていただきました。



今回の講座により、相手を思いやり、寄り添った接し方をすることが大切であると分かりました。日頃から自分の身近に関わりがある人、接する機会のある人もいます。そんな時には、教えていただいたことを思い出して、笑顔で優しく接することができると思います。

10月以降の土・日・祝日の過ごし方について

鈴鹿市では、令和8年10月から土・日・祝日の部活動は行わず、地域クラブに移行します。

教育指導課 部活動地域移行準備室では、「令和8年度休日の中・高生対象の活動サイト」を準備し、休日に中・高生対象のスポーツ文化芸術活動を行う団体を紹介しています。Tetoruにて教育指導課から1・2年生の保護者のみなさまには配信されたと思いますが、休日の活動について詳しく知りたい場合は、次に紹介するURLを参考にしてください。お問い合わせは、教育指導課部活動地域移行準備室(059-382-9028)まで。

<https://sites.google.com/edu.city.suzuka.mie.jp/suzukatu2026?usp=sharing>

本を読もう！

日没時間もだんだんはやくなり、夜の時間が長くなってきました。

家に帰ってからホッとする時間に、スマホで動画を見たり、SNSで交流したりするのもいいですが、デジタルなものから少し離れて、紙に印刷された本を読み、活字や絵などに触れる時間を取ってみてはいかがでしょうか？

校長室前に少しだけ、紹介のため本や絵本を置きました。校長に一声かけてくれば、教室等で読んでもらってもかまいません。

「中学生が絵本（を読むの？）」と思うかもしれませんが年齢は関係ないと思います。昨年度『天中たより』で次のような記事を書かせていただいたことがありました。



以前勤めていた学校で、絵本の読み聞かせをしていただいていた方が卒業していくこどもたちに次のようなメッセージを送られました。その時、とても共感をしたことを覚えています。みなさんにも紹介します。

「絵本は、小さい子が読む本と思っている子もいるかもしれないけれど、中学生でも、大人になってからでも読み返してもいいんだよ。その時々心の状態によって感じ方も違うし、そこから新たな学びもあるんだよ。だから今後も本を手にとってほしいな。」

私はこの言葉にすごく共感し、絵本を読み返し、新たな発見があったこと、気持ちが穏やかになったことを覚えています。

もし、興味を持ったら、校長室前の本や絵本を気軽に手に取ってみてください。ただし、下の図のルールは守ってください。

本を読んでこころを落ち着かせ、おだやかにすごしてみませんか？

校長先生が持っている本の一部をご紹介します。

「絵本」は、小学生以下のこどもだけが読む本ではありません。

小学生のとき読むのと中学生や大人になってから読むのでは、感じ方が違います。

だから、誰が読んでもいいのです。

手に取ってみて、興味を持ったら読み進めてみてください。

次のことを守ってね！



- この場所では、静かにしてね
- もし、この場所から本を持ち出す場合は、表に必要事項を記入して、校長先生に一声かけてね
- 本はていねいに扱ってね
- 破れや汚れを見つけたら必ず校長先生に教えてね



2026年9月14日 設置

また、9月15日(火)から、各学年の廊下に図書支援員の方や図書委員会のみなさんが準備してくれたブックトラックが置かれました。

各教室の近く、みなさんの手に届くところに本があります。ぜひ、本を手にとって読んでみてください。そして、図書室にはさらに多くの本がありますので、来室して、たくさん本に触れてください。

電子書籍もお勧めですが、今回はあえて紙の本についてお勧めしたいと思います。読書で活字や絵に触れ、こころを落ち着かせ、おだやかに過ごしてみませんか？

